



オリジナルバージョン

セッション 11 自己評価クイズ

選択問題（合計 10 問）を使用して、セッションで学んだ「子ども同士のつながり作りの推進」について確認します。

1. 人生の最初の数年間に健全な養育を受けた子どもたちが両親／親代わりを失った孤児の話を読み聞かせることは、
 - A. 子どもたちが喪失に対してどう反応するかを示せるため、良いアイデアである。
 - B. 子どもたちを悲しませるので、避ける。
 - C. 子どもたちは喪失の経験を忘れなければならないため、良いアイデアとは言えない。
 - D. 健全な愛着の形成を阻害するため、良いアイデアとは言えない。

2. 両親／親代わりを失った赤ちゃんにとって、
 - A. 他の子どもたちとはなく、一人の養育者と時間を過ごして、子どもが安心できる関係を築くことが大切である。
 - B. 養育者との関係は、他の子どもたちとの関係に比べると、赤ちゃんの発達に重要ではない。
 - C. 多くの養育者と接して、刺激されることが重要である。
 - D. 大人の養育者との関係は、最も重要であり、赤ちゃんが「並行あそび」を覚えることに役立つ。

3. 養育者と子どもの交流を通じて基本的社会能力を子どもに教えられ可能性が高くなるのは、子どもが託されたときの年齢が、
 - A. 0～6 ヶ月のとき
 - B. 0～2 歳のとき
 - C. 0～18 歳のとき
 - D. 0～5 歳のとき

4. 社会的能力に欠ける子どもたちについて、スタッフがすべきことは、
 - A. 厳格かつ明確なルールを課すことである
 - B. わかりやすい秩序と、スタッフと子どもたちの間の距離を確立することである
 - C. 間違っただ行動を禁じるだけでなく、適切な行動の仕方を子どもたちに示すことである
 - D. 子どもたちが間違っただ振る舞いをする度に叱ることである

5. 安定した子どもグループを築くことが極めて重要である理由は、
 - A. 子どもたちがその施設のことを十分に分かり、新たに入所した子どもたちの問題を子どもたちが吸収できるようになるから
 - B. 新たに入所した子どもたちは排除されることに不安を感じて、グループの既存の子どもたちと同じように振る舞うから
 - C. グループの既存の子どもたちは、新たに入所した子どもたちが間違っただ行動をすると、大人の養育者がする前に、新たに入所した子どもたちを懲らしめるから
 - D. 大人の代わりに、グループが新たに入所した子どもたちの面倒をみるから



6. 社会的能力の発達に遅れがある子どもたちは、
- A. 必要な能力の発達を加速させるために、年上の子どもたちと同様に扱われるべきである
 - B. 欠けている社会的能力を発達させるまでは、他の子どもたちとの接触を最低限に留めるべきである
 - C. 精神科病院で治療されなければならない
 - D. 若い子どもたちが必要としているようなケアを必要としているため、年下の子どもたちと同様に扱われるべきである
7. 子どもたちが、秩序のあるやり方でアクティビティができない場合は、
- A. そのアクティビティをしないよう未然に防ぐ
 - B. 自由にやらせて、秩序あるやり方を自発的に学べるようにする
 - C. 秩序のないアクティビティを社会的なアクティビティに変え、いくつかのルールを設けて、そのアクティビティが適切である場所や場面を明確にする
 - D. 社会的に受け入れられない振る舞いをする度に懲らしめる
8. 子どもたちが、不機嫌にならずに他の子どもたちと遊べない場合は、
- A. 不機嫌と不満への対処の仕方を覚えるまで、その子たちだけで遊ばせる
 - B. その子どもたちに適切な振る舞い方を教えらる子どもたちとだけ遊ぶことを許す
 - C. この問題を解決することに特化した特別教室に通わせる
 - D. その子どもたちに不機嫌と不満への対処の仕方を教えらる大人の養育者と遊んでから、徐々に、他の子どもたちの人数を増やしながら遊ばせる
9. 改善が見られた子どもたちに責任を担わせるのが良いアイデアである理由は、
- A. 他の子どもたちが、（良い振る舞い）を真似する気になり、責任を持てるようになるから
 - B. 他の子どもたちが問題や経験不足を認識して、自発的に改善を試みる気になるから
 - C. 他の子どもたちに敬意と尊重が芽生えるから
 - D. 子どもたちは養育者の仕事を覚えて、代わりに仕事ができるようになり、施設で雇用する人材を減らせるから
10. 子どもたちがいつでもグループで過ごすことを望まず、義務的ではない友だちを持つことを望む場合は、
- A. グループで過ごすことを強制して、発展の加速化を試みる
 - B. 日中に仲の良い友だちとの共同のアクティビティを計画してもよい
 - C. 一人にさせておき、グループの価値を悟らせる
 - D. そのような行為は、他の子どもたちを傷つけることがあると教える